

豊中みどりの交流会

こんな活動をしています！

みなさんご参加
お待ちしております！

花苗プロジェクト

参加者募集

花の種まきから育苗、花壇への植付け、小学校・地域の公園・公共施設への花苗の提供を行っています。

●活動内容：花の種から育苗・水やり・腐葉土作り 2時間程度。(ご都合の良い時のみの参加OKです)

●活動場所：ふれあい広場SEED
ふれあい緑地内のとよなか四季彩園の南、マリンプード豊中スイミングスタジアムの南西に位置します。

参加希望の方は
下記の事務局までご連絡ください。



みどりのカーテンプロジェクト

今年度のみどりのカーテンづくりは、小学校が31校、こども園施設等が35ヶ所参加いただくことになりました。みどりのカーテンづくりの輪も年々広がっています。

交流会で育てているゴーヤの苗も大きくなり、5月から各小学校や施設に配布し、植付け指導等を行っています。

みどりのカーテンづくりやプロジェクトにご興味のある方の参加をお待ちしています。



豊中みどりだよりは、みんなで、どンドン、りょっか(緑化)しよう!という意味を含めて、豊中市でみどり活動を進められている方に向けて発信するニュースです。



Toyonaka Green Action

2017年度の豊中みどりの交流会は

地域みどり学習プロジェクト

みどりについて広く学ぶ視点から、ヒント集の作成や見学会、地域のみどりの活動団体紹介など、みどりに関して広く活動しています。

5月17日(水)にパナホーム株式会社さんの「つながりのひろば」への見学ツアーを行いました。



「つながりのひろば」は、次世代に向けた事業活動、社会からの信頼、地域の生態系を保全し、地球環境を未来につなぐ象徴として2013年4月に開設されました。

豊中みどりの交流会展

日時：平成29年6月7日(水)・8日(木)
10:00~16:00

場所：豊中市役所 第二庁舎 1階市民ロビー

内容：豊中みどりの交流会活動パネル展示
ゴーヤのカーテンや花の寄せ植え展示など



花苗・ゴーヤ苗のプレゼント!

3月	2月	1月	12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月	
第3回みどりのつどい 次年度準備	次年度計画 みどりだより第32号発行	腐葉土づくり	SEEDへの花苗植付け	環境展 花苗植付け	花の育苗 みどりのフォーラム(22日)	秋まき種子の種まき みどりだより第31号発行	第2回みどりのつどい 秋まき種子の種まき	みどりのカーテンツアー	豊中みどりの交流会展(7日・8日) 花苗植付け	第1回みどりのつどい(28日) みどりのカーテン植付け指導(6月) みどりのカーテンづくり講習会	ふれあい緑地フェスティバル(3日) 花・ゴーヤの育苗 みどりだより第30号発行	春まき種子・ゴーヤの種まき

【編集後記】

新年度より運営委員長を担当させていただいている数本圭一です。この場をお借りし新任のご挨拶をさせていただきます。私は、交流会の活動が始まった当初から、花苗とみどりのカーテンの二つのプロジェクトの活動に参加させていただき今日に至ります。

現在、交流会の活動拠点とするSEEDが設置されるまで、公園みどり推進課の方々とともに、その候補地を捜し歩きました。SEEDを大切に活用し多くの市民に参加していただき、みどりや花、そして、土に触れることで潤いのある楽しい交流の場として発展させるため、更に整備を進めたいと考えています。交流会は市のみどりの施策の一つとして、交流会の参加者とともに運営し推進されており、活動を進める上で私たちが手が携え、多くの市民が自由に参加できるこの場は稀有な集まりで得難い取組みです。

地域みどり学習プロジェクトも交流会から外に向かう活動として更に幅広く進め、決意を新たに取ります。



こんな計画で活動していきます!

平成28年度 第3回みどりのつどい 発表内容

「つながりのひろば」(ピオトープ)の取組み

パナホーム株式会社：パナホーム品質・環境本部企画グループ
チーフマネージャー山田欽也さん

パナホームは2013年に創業50周年を迎え、その時に「地球の未来と住生活文化の発展に貢献しつづけます。」というブランドプロミスを発表しました。その中でいろいろな“つながり”を築いていくため、次世代に向けた事業活動、お客様や地域住民を含む社会からの信頼、地域の生態系を保全しながら地球環境を未来に“つなぐ”象徴として、本ビル横のスペースに「つながりのひろば」を開設しました。元々はコンクリートで固められた駐車場でしたが、植栽の専門家などのご意見をいただき、なるべく豊中千里の地に自生しているものに配慮して約30種類2,500本くらいの樹木を植え、1年を通じて季節の変化に富んだ景色が見えるようにしました。ひろばの面積は727㎡、ピオトープが150㎡で、創業50周年ということでパナソニック製太陽光発電パネル50個を木の形に並べています。



「つながりのひろば」のコンセプトは3つあり、1つ目は、生物が集まる環境を創出し、地域環境と共存する「地球環境を未来へ“つなぐ”」ことで、大阪府の「みどりの風の道形成事業」とのコラボレーションなどにより、パナソニックグループの「共存の森」の活動の一環として取り組んでいます。

2つ目は「事業を未来へ“つなぐ”」ことで、大規模災害時でもインフラを確保するBCPの作成、太陽光発電を蓄電池に溜め、災害対策本部立ち上げ時の電力確保、風力発電によるLED照明の点灯などに活用しています。

3つ目は「社会からの信頼を“つなぐ”」で、災害時の帰宅困難者などの支援として防災ベンチなどを設置し、大阪府「防災安全みちづくり」事業の一環として、年1回「災害時帰宅困難者体験訓練」を実施しています。

大阪府や豊中市など複数の団体と「おおさか生物多様性パートナー協定」を結び、生物多様性を保全するための取組みを相互に行うことを確認し、近隣小学校への環境教育授業などを行っています。このピオトープでは、元々千里に生息していた「ミナミメダカ」や絶滅危惧種指定の「カワバタモロコ」を放流し、当初の30匹からメダカは2,000匹~3,000、カワバタモロコも200匹~300匹ほどに増えています。

大阪府、豊中市との連携イベントとして、8月に豊中市民の方を対象に「自然観察教室」を実施しました。また、昨年9月には豊中市立東泉丘小学校にて「環境出張授業」を行い、すだれの効果や快適にエネルギーを減らす方法を勉強してもらいました。

こうした取組みが評価され様々な賞を受賞しました。2015年には、自然観察会と住宅の勉強をしていただく複合プログラムが、都会の中で生物多様性を保全するための取組みとして「キッズデザイン賞」を受賞し、先日は「第8回豊中市都市デザイン賞・第1回豊中まちなみ市民賞」を受賞しました。ピオトープを中心に周辺の水辺と緑のネットワークを回復する生物多様性の拠点となっていること、太陽光発電システムや風力発電と緑地が調和したデザインとなっていることについて評価をいただき受賞につながりました。こうした取組みを今後も続けていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

3月5日(日)10:00~12:00に花とみどりの相談所にて「みどりのつどい」を行いました。話題提供として、パナホーム株式会社から「つながりのひろば」の取組みについて、東泉丘小学校から「花いっぱいプロジェクトの取組み」について発表していただきました。

花いっぱいプロジェクトの取組み

東泉丘小学校：佐々中校長
学校支援コーディネーター：清水さん

地域から子どもが愛され、子どもが地域と自然に愛着を持つような学校にしたいという思いから、「花いっぱい笑顔いっぱい」をキャッチフレーズに花いっぱいプロジェクトをスタートしました。

地域にはどこでも学校があり、子どもたちがいますが、その子どもたちのために思っている地域の人たちがたくさんいます。そういった方の力を借りて、学校を拠点にそれぞれが助け合いを実感できるような取組みを展開していきたいと考え、「できる人が、できる時に、できる事をしてもらおう」という考えをモットーに、地域や保護者のボランティアによる学校応援団「わかたけサポート隊」を立ち上げ、活動を進めています。

花いっぱいプロジェクトでは、まず学校の中を花いっばいにしたいという思いから、花壇作りを始め、夏休みの暑い中、父兄にもお手伝いいただきました。また、11月になって校内にもう一個の花壇作りを行いました。

今年度から3年間、大阪府池田土木事務所からの協力により、パンジー、ピオラを中心に1,000株のプラグ苗やルピナスなどの種を提供していただき、小さいポットに種を植えたりして、大量にポット苗を作りました。12月にプランターへの植え替えや花壇への定植を行い、年が明けた2月に自分たちが育てたプランターを北大阪急行桃山台駅や地域の施設、中学校等11ヶ所にプレゼントしました。花を届ける場所も子どもたちから募集したもので、桃山台駅では、駅員さんがプラカードを持って子どもたちを出迎えてくれ、ホーム内の花壇に直接花苗を植えました。老人ホームでも、入居者の方の全員が出迎えてくれ、それぞれの施設に出向いた子どもたちは、予想以上の感謝のされ方に驚いていました。

この4月から1年生から4年生までのうち170名が南丘小学校への校区変更の対象となりますが、転校先で自分たちが植えた花が迎えてくれるといった状況を作りたいと思い、花いっぱいプロジェクトで育てた苗を南丘小学校に持っていき、門に植える取組みを行いました。



今の子どもたちは土を触った経験のない子がたくさんいますが、「土を手で触るのは汚いと思っていたけれど、さわったらホクホクしていて気持ちよかった」と感想をもらいました。プロジェクトに取り組んだ子どもたちの感想を紹介しますが「花プロをしてから、自分たちが植えた花じゃなくても花壇の花に目が止まるようになったし、温かい気持ちになれると思いました。」「花プロで地域の人たちとつながりのあることを改めて思いました。」とあり、この取組みを行うことで自分が住む地域のことを少し近く感じる事ができたと思います。

この花いっぱいプロジェクトを通して、子どもたちが何か地域に貢献でき、地域の人からいいねと言ってもらえるような活動ができたという実感を持ち、地域の人にとっても学校や子どもたちの取組みを肌で感じてもらって、少しでもわが町の学校という意識を高める事ができたと思います。今後も、ゴーヤの取組みとともに4年生の行事として継続・定着させ、地域の学校、地域の子供たちという意識をもっともっと広げていきたいと考えています。

ふれあい緑地フェスティバルに参加しました！

平成29年5月3日(祝)

たくさんの方にご来場いただき、記念写真、ポット上げ体験、ゴーヤの種まき体験、工作、花苗プレゼントなどを楽しんでもらいました。

